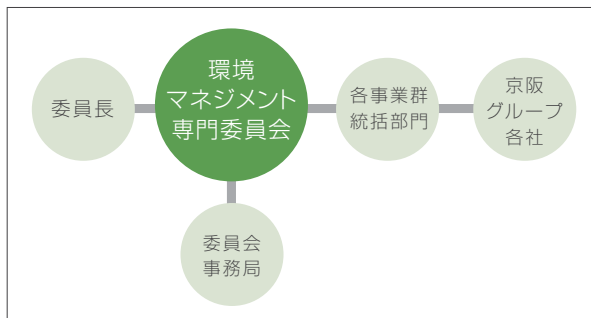


京阪グループにおける環境マネジメント

環境マネジメント専門委員会

京阪グループでは、「環境マネジメント専門委員会」を設置し、グループ全体の環境経営を推進しています。委員会では、環境マネジメントシステムの構築のフォローアップ、各社の情報の共有化や各社の取り組み状況の評価を行い、改善に努めています。

■ 京阪グループの環境マネジメント体制



環境マネジメントシステム構築の推進

各グループ会社においては、ISO14001やKESなどの環境マネジメントシステムの認証取得を推進するほか、京阪グループ独自の環境マネジメントシステム(準拠タイプ、基本タイプ、簡易タイプ)を定め、各社の事業内容などを勘案して選択、構築し、環境マネジメントシステムの継続的改善を図っています。

認証タイプ ISO14001、KES(特定非営利活動法人KES環境機構による)などの環境マネジメントシステム要求事項に適合したシステムで、外部審査機構による審査登録を行います。

準拠タイプ ISO14001に準じますが、その一部を省略したシステムです。

基本タイプ ISO14001の基本要素を抽出したシステムです。

簡易タイプ 環境にやさしい改善活動のみを取り組みの対象とするシステムです。

ISO14001などの取得状況

京阪グループにおけるISO14001、KESの取得状況は以下の通りです。

■ ISO14001、KESの取得状況

年 月	会社名/事業所
平成12年 9月	ひらかたパークがISO14001の認証を受ける
平成13年 3月	寝屋川車両基地がISO14001の認証を受ける
平成14年 6月	浜大津アーカスがISO14001の認証を受ける
8月	(株)琵琶湖ホテルがISO14001の認証を受ける
平成16年 3月	当社がISO14001の認証を受ける (全社で認証を受けたのは鉄道業界で初めて)
12月	(株)大阪マーチャндаイズ・マートがISO14001の認証を受ける
平成17年 3月	江若交通(株)がISO14001の認証を受ける
9月	(株)京阪百貨店がISO14001の認証を受ける
平成18年 5月	京福電気鉄道(株)がKES環境機構の認証を受ける
12月	ケーター自動車工業(株)がISO14001の認証を受ける

グループ会社における取り組み

● 京都タワー(株)

同社は、JR京都駅前の京都タワー内の諸施設や京都タワーホテル、京都タワーホテルアネックス、京都第2タワーホテルを経営しています。

同社では、京都を観光されている方に地球温暖化の防止に関する理解を深めていただくための環境への取り組みを行っており、その取り組みのひとつに年2回の京都タワーの塔体の夜間照明消灯があります。脱温暖化行動キャンペーンを展開している京都市、京都府などからの依頼を受け、京都議定書の発効日である2月16日の前日の2月15日に「京都一斉ライトダウン」に参加し、6月(平成19年は6月24日(日)に実施)には環境省、京都市などの呼びかけに応じてCO₂削減/ライトダウンキャンペーン「ブラックイルミネーション」に参加しています。

また、清掃活動にも取り組んでおり、平成10年2月から「京都駅周辺を美しくする会」の京都駅周辺の環境美化、清掃活動に賛同し、発足当初より毎月2回、清掃活動を実施しています。同社から10年間で約400名がこの清掃活動に参加しています。



▲ 消灯前



▲ 消灯後

清掃活動 ▶



● 琵琶湖汽船(株)

日本最大の湖である琵琶湖は、400万年の歴史をもつ古代湖で、世界的にも希少な淡水生態系を保持しています。この琵琶湖でミシガンやピアンカなどの船舶を運航している同社では、環境対策のひとつとして、生態系に安全な急速分解性を備えた植物油をベースとして開発されたドイツ・フックス社製の潤滑油をエンジンなどの潤滑油に採用しています。

この潤滑油は、生分解率が高く水生動物に無害であることから汚染の心配がなく、使用することによって不純物の発生を抑えながらオイルの循環性が30%アップすることにより、燃料消費が最大4.5%低減され、CO₂の発生を減らすことができます。

このほか、同社では、環境体験学習のためのクルーズ、ツアーを実施し、琵琶湖の環境を守るための啓発活動も行っています。

また、平成19年8月に大津港で開催された「サマーフェスタ2007」の「光のフェスタ 第2回・びわ湖ランタン〜水の恵み〜コンテスト」では、当社とともに光のオブジェを出展しました。このコンテストは来場者の方に「水の恵み」を感じていただくことをテーマに実施されました。



▲ ミシガン



▲ 琵琶湖汽船(株)オブジェ



▲ 当社(京阪電気鉄道(株))オブジェ